

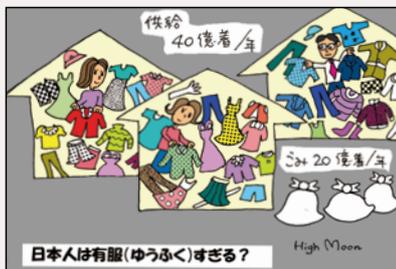
# 特別展示室・公開講座

## 漫画で学ぶエコロジー展

期間:2019年4月1日(月)~5月28日(火)

協力:高月紘(京エコロジーセンター館長、京都大学名誉教授)

気候変動の課題を風刺漫画で分かりやすく解説した展示。ごみ研究者と環境漫画家の二足のわらじをはいて活躍する高月紘先生(京都大学名誉教授、京エコロジーセンター館長)の専門家ならではの視点で描いた風刺漫画を紹介しました。



## 漫画で学ぶ エコロジー展

知っている言葉はいくつありますか?

アップサイクル

適応策/緩和策

グリーンウォッシュ

EPR (拡大生産者責任)



高月紘先生  
(ハイムーン先生)

1941年京都市生まれ。京エコロジーセンター館長、京都大学名誉教授、日本漫画協会会員。専門は廃棄物学。ハイムーンのペンネームで、環境・廃棄物問題をわかりやすく漫画で訴えている漫画家でもあります。幼い頃から漫画を描き始め、長年エコライフについての漫画を国内外に発表しています。先生の漫画は風刺をこめシンプルでわかりやすく、教材として、市民グループや自治体、研究者からも多くの依頼があり、イラスト、本の挿絵、ポスターなどに多く使われています。

### 特別講演会

## 「環境問題と私たちのライフスタイル」

開催日:2019年5月22日(水)

特別展示室「漫画で学ぶエコロジー展」開催を記念し、ジェネラルレクチャーで講演会を実施しました。



**環境問題と私たちのライフスタイル**

京都市環境局の月刊「環境」(白紙)に30年以上連載しているマンガ「環境」の最新号のイラスト展を「sdg house」特別展として開催中。特別展を記念して、公開講座を開催します。

高月紘先生講演会  
「環境問題と私たちのライフスタイル」  
日時:2019年5月22日(水)  
15:20~16:10 受付開始:15:00  
会場:聖心女子大学 マリアンホール  
講師:高月紘先生  
京都大学名誉教授、京エコロジーセンター館長

参加費:無料  
申し込み:要予約・先着50名様  
お申し込みはこちらから→

本講演会は本学学生向け授業の一部を一部に公開するものです。  
主催:聖心女子大学3階2次センター  
共催:聖心女子大学グローバル共生研究 お問い合わせ先: jssu-kypm@stccard.heart.ac.jp

## 「パタゴニア」による活動紹介

期間:2019年5月31日(金)~8月30日(金)

団体:パタゴニア日本支社

一人ひとりが地球環境のためにできる最善の行動は、モノを長持ちさせることです。愛着をもって着る服を選び、手入れによって洋服の寿命を伸ばすという行為は、長期間にわたってモノを買う必要性を減らし、二酸化炭素の排出と廃棄物および製品を作るための水の使用量を削減します(パタゴニアHPより要約)。パタゴニアが取り組む環境保護への取り組みを紹介しました。



### イベント

## Worn Wear College Tour

開催日:① 2019年5月31日(金)

② 2019年7月31日(月)



パタゴニア日本支社は、2019年5月31日より聖心女子大学を皮切りに、全国各地の11大学を訪問する「Worn Wear College Tour」を実施。「Worn Wear」とは、着ることについてのストーリーを祝い、皆様にギアを長く使っていただき、修理不能になった衣服を簡単にリサイクルするための方法を提供するプログラムです。大切な1着の寿命を延ばしてより長く着つけることは、消費を抑えることにつながり、私たちが地球に与える影響を削減するためにできる重要な行動でもあります。今回の「Worn Wear College Tour」では、修理やその他イベントを通じて、パタゴニア日本支社と学生が「責任ある消費」について考えました。

atagonia  
Worn Wear<sup>TM</sup> Project In  
University of the Sacred Heart, Tokyo

開催日: 5/31 (Fri) and 7/1 (Mon)  
 5/31 (Fri) 10:00 - 17:00  
 7/1 (Mon) 10:00 - 15:00 予定  
 場所: 4 階学生エントランス前広場  
 持ち物: 壊れてしまった衣服や  
 部品などが壊れてしまった衣服も大歓迎  
 お問い合わせ先: jms-kyozai@cs.sacred-heart.ac.jp  
 聖心女子大学関係者向けイベントとなります。

Worn Wear Projectとは?  
 Worn Wear Projectとは、Patagoniaが人とモノの関係を考えようという使命の  
 実践の一環として、壊れた洋服を修理するWorn Wearプロジェクトです。  
 洋服が壊れたら、捨てるのではなく修理で長く使うという意識を持って  
 いただくのがプロジェクトの目的です。この活動を通じて、壊れた洋服を修理  
 して長く使うという意識を持っていただくのがプロジェクトの目的です。  
 Worn Wear Tour「Worn Wear Project」が、もうすぐスタートです。ぜひ、心算を  
 立てよう。Worn Wear Projectは、Patagoniaが人とモノの関係を考えようという使命の  
 実践の一環として、壊れた洋服を修理するWorn Wearプロジェクトです。

WORN WEAR

## 沈みゆく声 Sinking Voice from Tuvalu展

期間:2019年9月5日(木)~11月7日(木)

団体:NGO/NPO Tuvalu Over View

南太平洋に浮かぶ島々で構成される島国「ツバル」。気候変動の影響を最も受けている国のひとつです。美しい南太平洋の大自然の中で逞しく生きているツバルの人々の写真、島の実情と気候変動の影響の深刻さを映す映像など、ツバルの今を伝えました。



# 沈みゆく声

Sinking Voice from TUVALU

沈みゆく声 (Sinking Voice from Tuvalu) 展  
 ■期間: 2019年9月5日~2019年11月7日  
 ■場所: 聖心女子大学4号館/聖心グローバルプラザ BE\*hive 特別展示室 (入場無料)  
 ■ギャラリートーク: 10月26日(土) 14:00 ~ Be\*hive ワークショップスペース  
 Tuvalu Overview 代表理事、遠藤秀一氏による展示作品の解説、ツバルの状況報告などに  
 加え、鹿児島県民家体験施設「山のツバル」でのスマートな低炭素暮らしの体験談も。  
 お問合せ: 展示主催 NGO/NPO Tuvalu Overview  
<http://tuvalu-overview.tv> [info@tuvalu-overview.tv](mailto:info@tuvalu-overview.tv) [facebook.com/tuvalu.overview](https://www.facebook.com/tuvalu.overview)

### ギャラリートーク

## 「沈みゆく声展」ギャラリートーク

開催日:2019年10月26日(土)

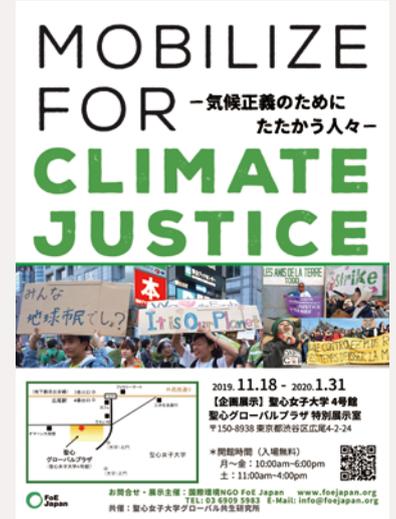
Tuvalu Overview 代表理事 遠藤秀一氏による展示作品の解説とツバルの状況報告などに加え、鹿児島県の民家体験施設「山のツバル」でのスマートな低炭素暮らしの体験談をギャラリートークとして開催しました。

# MOBILIZE FOR CLIMATE JUSTICE

—気候正義のためにたたかう人々—

期間：2019年11月18日(月)～2020年1月31日(金)  
 団体：国際環境NGO FoE Japan

2019年9月20日、若者の呼びかけにより開催されたグローバル気候マーチに、世界185ヵ国760万人以上の市民が参加し、世界中で気候変動への関心が高まりました。会場では国内外で気候正義実現のために戦う人々の声の紹介や、気候正義とは何かを考えるパネル展示、一人一人ができるアクション等を紹介し、期間中、展示に伴うギャラリートークも開催。気候変動の影響は既に深刻です。この展示が未来を変えるために行動を起こすきっかけになることを願って展示されました。



**ギャラリートーク** 『Climate Justice って？ 皆と考えよう！』

開催日：2019年11月23日(土)

**相談会** おうちの電気を自然エネルギーに！  
 パワーシフト相談会

開催日：2019年12月10日(火)、12月12日(木)

**セミナー** 日々の暮らしの裏側で～語られない人々の物語～

開催日：2020年1月10日(金)

**シンポジウム** MOBILIZE FOR CLIMATE JUSTICE —気候正義のためにたたかう人々— 期間：2020年1月25日(土)

## 気候危機へ挑む—私たちにできること

期間：2020年2月10日(月)～10月31日(土)  
 団体：特定非営利活動法人気候ネットワーク

気候変動は大きく複雑です。問題を解決することは容易ではなく、そのため、私たちができるアクションはあまりないと誤解されがちです。しかし、実際には私たちにできることは多くあります。問題解決に近づけるための変化を起こすことは可能です。本展示では、現在の気候危機に至るまでの歴史と原因、また、展示を見てすぐに行えるさまざまなアクションを紹介しました。

感染症拡大予防のための臨時休館に伴い、研究所HPにて、バーチャル展示として開催しました。



展示案内

### 気候危機へ挑む—私たちにできること

**イベント**

■ 無料プレゼンテーション＆お茶

11月21日(日) 18:00-17:00 11月21日(日) 18:00-17:00  
 11月22日(月) 18:00-17:00 11月22日(月) 18:00-17:00

■ 無料セミナー＆お茶

11月22日(月) 18:00-20:00 (Cheating Covid、平山伸太郎氏)  
 11月23日(火) 18:00-20:00 (How The Flood、池田真由美氏)  
 11月24日(水) 18:00-20:00 (Company、1999年の危機、池田真由美氏)  
 11月25日(木) 18:00-20:00 (The Age of Flood、池田真由美氏)  
 11月26日(金) 18:00-20:00 (Bubble The Flood、池田真由美氏)

■ 11月28日(日) コーデ、下野麻矢氏、お茶の会も開催予定です。  
<http://bit.ly/3W88888>

**展示期間：2/10(月)～4/28(火)**

**主催：特定非営利活動法人気候ネットワーク**

住所：東京都渋谷区広葉4-2-24 聖心女子大学4号館/聖心グローバルプラザ  
 アクセス：東京メトロ日比谷線広葉駅 4番出口から徒歩1分  
 入場料：無料

**ギャラリートーク**

「気候危機について学ぶ」

—“Must We Change? Can We Change? Will We Change?”

お茶を飲みながら、わかりやすいプレゼンを聞いて、話をしてみよう！

開催日：2020年2月21日(金)

プレゼンター：テイラー 貴安努(気候ネットワークインターン)

# 豊田直巳写真展「未来への伝言～消される景色の中の消えない記憶～」

期間:2021年2月17日(水)～4月28日(水)  
 団体:国際環境 NGO FoE Japan

2011年3月11日の震災から10年。この写真展『未来への伝言』は、フォトジャーナリストの豊田直巳氏が、原発震災の翌日から福島県大熊町や双葉町に入り、取材と撮影を始めた中から、「消される景色の中の消えない記憶」を未来に残したいと思いつきながら、選んだ写真を展示しました。いまも「フクシマ」を覆う放射能禍。でもセシウムは見えません。セシウムが発する放射線も見えません。でも、確かにそれは、あるのです。けっして「風評」などではないのです。そして、それでもなお、そこにも人々の暮らしがあります。



**豊田直巳写真展**  
 「未来への伝言～消される景色の中の消えない記憶～」

2021.2.17(水)～4.28(水)  
 月曜日～金曜日 10:00～17:00

聖心女子大学4号館/聖心グローバルプラザ  
 東京都渋谷区広尾4-2-24(広尾駅4番出口から徒歩1分)

2月24日(木) 19:00～20:30

「未来への伝言～消される景色の中の消えない記憶～キックオフトーク」  
 豊田直巳さんから、写真展の趣意とこのエピソード、また聖心女子大学の映画『サマシヨール 遺言第六章』について、ゲストと対話する機会を設けます。30分～40分程度のトークです。

2021年2月、福島第一原発事故から10年を迎えます。10年経ち、7万7千と復興のかけだ「見える化」されてしまふ福島第一原発事故の被害を可視化し、国際的に発信していくため、「ふくしま未来のプロジェクト」に呼びかけられています。このたび、フォトジャーナリストの豊田直巳さんとともに、聖心女子大学にて写真展を開催いたします。コロナ禍で多くの人が集まる形のイベントが開催できない中、10年という節目に、写真を通して、被災地の現状を伝えたいと、写真展と対話トークを企画しています。気候変動への対応も待たずして、子どもや若者世代に継承し、持続可能な社会へ向けて、一緒に活動していけたらと思っています。ぜひお気軽にいらしてください。

4月3日(土) 14:00～16:00  
 下キメタナリ・博覧  
 「わたしたちが暮らす日本の島根県杉原 上境」  
 豊田直巳トーク(予定)

主催:国際環境 NGO FoE Japan  
 協賛:聖心女子大学

**ギャラリートーク**  
**未来への伝言**  
**～消される景色の中の消えない記憶～**  
**キックオフトーク**

開催日:2021年2月24日(木) オンライン開催  
 豊田直巳さんから写真展の見どころとエピソードと、2020年2月公開の映画『サマシヨール 遺言第六章』について、ゲストとともにお話しいたしました。

## 「THE TRUE COST」 映画上映会 + トークイベント

開催日:2019年4月20日(土) 主催:聖心女子大学グローバル共生研究所

華やかなファッション業界の裏側では児童・女性労働問題のみならず、地球環境問題を引き起こすさまざまな真実が隠されています。映画鑑賞、トークイベントを通して、私たちが普段身に着けている衣服が地球に与えている影響を考えるきっかけとなることを願って開催しました。

パネリスト 辻井隆行(パタゴニア日本支社 支社長)  
末吉里花(一般社団法人エシカル協会代表理事・日本ユネスコ国内委員会広報大使)



## ゼロ・ウェイストで目指す未来社会 ～徳島県上勝町の事例から～

開催日:2019年6月29日(土) 共催:エシカル協会

気候変動に密接にかかわるゴミ問題。日本における地域密着型のゴミ問題解決に関するイノベーションの代表的な実践例となる徳島県上勝町のゼロ・ウェイスト・アカデミー。上勝町の刷新的な実践を学び、深め合い、一人ひとりの「明日への一歩」につなげるワークショップを開催しました。

講師 坂野晶(特定非営利活動法人ゼロ・ウェイストアカデミー)



## 気候変動とマインドフルネス

開催日:2019年7月6日(土) 共催:ヒューマンバリュー総合研究所

人間の活動が主な要因となって起こっている気候変動。技術開発や法律、教育等を通して、その解決に人類は取り組んできましたが、改善には至っていません。近年、物質的な豊かさを追求する人間の価値観や行動、ライフスタイルを深い次元から問い直す試みが注目されています。そうした論客の一人であるDr. Barry Kerzin をお招きし、「気候変動とマインドフルネス」について語っていただきました。

講師 バリー・カーズィン  
(ワシントン大学客員教授、香港大学名誉教授、マックス・プランク研究所(ドイツ)「瞑想と慈悲の訓練の長期的研究」顧問、一般社団法人ヒューマンバリュー総合研究所(Human Values Institute)所長及び代表理事)



## 気候変動とSDGs

～女性や社会的弱者が取り残されない世界の実現に向けて～

開催日:2019年11月12日(火) 主催:聖心女子大学グローバル共生研究所

第一部では、日本におけるSDGs研究の第一人者の蟹江憲史教授を迎え、気候危機とSDGsをテーマに社会的弱者への取り組みや課題についての基調講演を開催。第二部では、本学学生、姉妹校高校生を交え、パネルトークを行いました。

講師 蟹江憲史(慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科教授)



## オンラインセミナー

# 「気候変動から気候危機へ ～困難な時代をしなやかに生きるヒント～」

開催日:2020年10月31日(土) 主催:聖心女子大学グローバル共生研究所

昨年末のオーストラリアでの大規模森林火災に続き、この夏は米国西海岸が記録的な山火事に見舞われ、東京の7倍以上の面積が消失しました。国内でも6月の平均気温が最高記録となるなど、異常気象や自然災害が常態化し、環境省が白書で初めて「気候危機」という言葉を用いるに至りました。

本セミナーでは気候変動研究の第一人者である江守正多さんと、困難な時代においてもいかに人はしなやかに生きていけるのかを等身大の言葉で発信している元陸上選手の為末大さんをゲストに迎え、気候危機の時代における私たちの生き方やライフスタイルについてお話いただきました。



講師 江守 正多(国立環境研究所 地球環境研究センター副センター長)  
為末 大(一般社団法人アスリートソサエティ代表理事/元陸上選手)

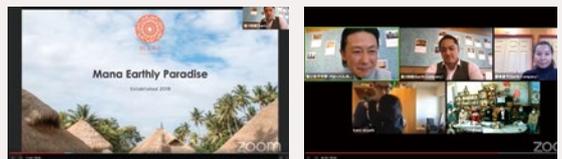
## オンラインセミナー

# 「まるごとサステナビリティ いかに学校全体でSDGsを実現するか」

開催日:2021年1月19日(火) 主催:聖心女子大学グローバル共生研究所

脱炭素社会に向けて日本社会も動き出しました。学校も例外ではなく、持続可能な未来に向けて動き出すことが求められています。どのように取り組めばよいのでしょうか？本セミナーでは、学校を「まるごとサステナビリティ」に変えていくOG(オペレーション・グリーン)という手法で、学校が持続可能な社会のモデルとなるような具体的なアクションをお伝えしました。

ゲストスピーカー 濱川知宏・藤本亜子  
(一般社団法人 Earth Company)



## オンライントークイベント

# 「暮らしから捉え直す SDGs/ 気候アクション」

開催日:2021年3月28日(日) 主催:聖心女子大学グローバル共生研究所

暮らしで何気なく使っている「消費」という言葉。使ったり捨てた後も忽然と消えるわけではないのに、どうして「消費」なのでしょう？「消費」に溢れている現代社会での暮らしを今一度捉え直し、「ちいさな革命」につながる歩みを参加者と共に考えました。

出演者 森岡督行(森岡書店)  
末吉里花(一般社団法人エシカル協会代表理事、日本ユネスコ国内委員会広報大使)  
翻訳チーム「Connecting Dots, Collecting Distances」  
永田佳之(聖心女子大学現代教養学部教授)  
Earth in Mind(聖心女子大学学生団体)

